

# 平成18年度一般会計予算は

## 543億2千万円

### 介護保険条例の制定を可決

#### 平成18年度一般 会計予算を可決

春日部庄和線（南）道路整備調査事業を進めます。

#### 修正案

合併後初めての通年予算となる、平成18年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ543億2千万円とするものです。

春日部庄和線（南）道路整備調査事業を進めます。はぐくみの施策として、児童生徒一人一人に応じた指導の充実や多様なニーズに応じるため、全小中学校に相談員や普通学級支援員等を配置します。

県内トップクラスの高額な介護保険料の低所得者への値上げ見合わせと県内最低水準のこども医療費無料制度を近隣市町の水準に引き上げます。介護保険料所得段階の第1・3・4段階の保険料は、旧春日部市の額に据え置きます。こども医療費無料制度は、通院を就学前まで拡大して、窓口払いを廃止します。

歳出の主なものは、やすらぎの施策として、こども医療費支給事業の助成対象を一部拡大します。また、一ノ割駅にエレベーター及び身障者用トイレを設置し、交通バリアフリー化を推進します。

このほか、新市の総合的、計画的な行政運営を進めるため、総合振興計画の策定を進めます。歳入では、基幹となる市税は税制改正により市民税が増額となりますが、固定資産税が評価替えにより減額となるため、前年比2・5%増と小幅なものとなりました。

また、三位一体の改革により、地方譲与税が67・5%増となりましたが、地方交付税は14・8%、臨時財政対策債は10・3%の減額となり、厳しい財政状況となっています。【賛成多数で原案可決】

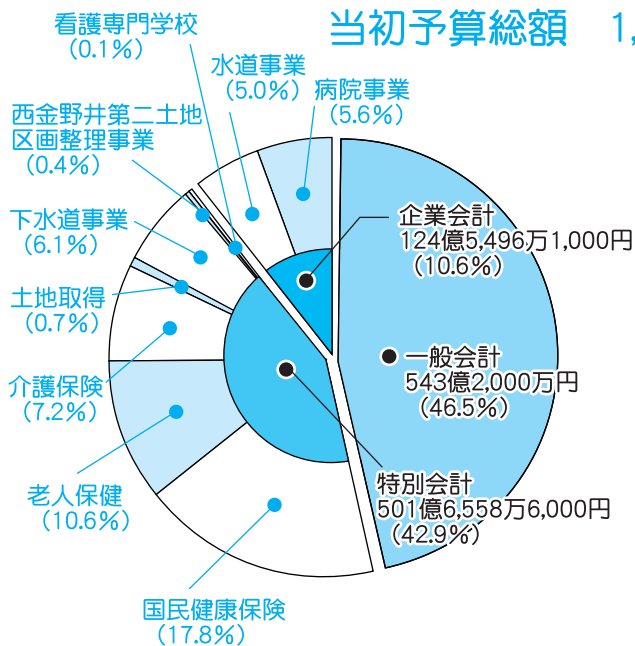
うるおいの施策として、安心安全のまちづくりを推進するため、防犯カメラの設置や防犯パトロール団体の支援などの防犯活動を進めるとともに、街路灯を増設します。

また、三位一体の改革により、地方譲与税が67・5%増となり、地方交付税は14・8%、臨時財政対策債は10・3%の減額となり、厳しい財政状況となっています。【賛成多数で原案可決】

費用は、次のように捻出します。株式売却収入を増額して8億1800万円とします。これは、株の売り払いを1株3098円と見込むのが現在の株価から適切と判断したためです。また、繰越金は10億3158万6千円とします。これは、平成8年度からの旧市町の決算額の推移から10億円以上の繰越金を見込むことができるためです。【否決】

### 平成18年度 会計別予算

当初予算総額 1,169億4,054万7,000円



区 分	予 算 額	
一 般 会 計	543億2,000万円	
特 別 会 計	国民健康保険	208億596万1,000円
	老人保健	124億1,482万6,000円
	介護保険	84億1,763万6,000円
	土地取得	8億2,172万7,000円
	下水道事業	71億7,417万2,000円
	西金野井第二土地区画整理事業	4億9万1,000円
	看護専門学校	1億3,117万3,000円
企業会計	水道事業	59億1,401万7,000円
	病院事業	65億4,094万4,000円
総 額	1,169億4,054万7,000円	

( ) 内は、構成比率

討  
論

財政の健全化を図り  
新生春日部づくりを願  
い原案に賛成(新政の会)

自主財源確保は命題であり  
市税等の滞納に対しては、税  
の公平公正の立場に立ち一層  
の徴収体制の強化を願います  
歳出では、こども医療費支  
給の拡大、一ノ割駅エレベ  
ーターの設置、粕壁三丁目A街  
区市街地再開発事業、防犯・  
暴力対策等の事業が生まれ、  
合併特例債の活用を予定した  
南桜井駅周辺整備を計上する  
など、市長の基本姿勢に合致  
したものと考えるところで  
す。

修正案は、繰越金に財源を  
依存して無理があり、介護保  
険特別会計への繰出金の増額  
は次年度以降の財源をどのよ  
うに担保するのが不明です。  
住民福祉向上を最優先にした  
市政にすることを強く求めて  
修正案に賛成(日本共産党)

合併で、庄和町で行われて  
きた住民参加の施策はほとん  
どが縮小、廃止の方向です。  
対等な合併とか、どの地域で  
も同じ高いサービスが受けら  
れるとか、財政が豊かになっ

て住民サービスが充実できる  
とか言ってきた合併前の宣伝  
は何一つ守られない予算です。  
さらに、在宅重度心身障害者  
手当、遺児手当、重度要介護高  
齢者手当に所得制限を導入す  
るといった弱者切り捨てが進  
められていることは重大です。

修正案は、最低限の内容で  
すが、多くの市民の皆さんの  
賛同が得られ、歓迎されるも  
のであると確信をしています。

市の将来と現実の市民  
生活に必要な内容であり  
原案に賛成(創政会)

街路灯の設置予算の増額等  
が盛り込まれ、市民生活の安  
心、安全の向上に寄与するも  
のです。市費で学校に相談員  
等が配置されて、将来を担う  
子どもの予算が充実。魅力と  
信頼に満ちた特色ある学校づ  
くりにご尽力をお願いします。  
また、行財政改革を進める施  
策が予算計上されましたが職  
員が一丸となり行財政改革に  
取り組むことをお願いします。  
修正案は、繰出金を増額し  
て、一方で介護保険特別会計  
予算の修正案がないのは無責  
任な案です。また、財源の平  
成17年度繰越金についても、  
過大の見積もりと思えます。

介護保険条例の  
制定を可決

この条例は、第3期介護保  
険事業計画の策定に伴い、合  
併前の春日部市及び庄和町の  
区域に暫定的に施行している  
2条例を廃止し、新たに制定  
するものです。条例の主な内  
容は次のとおりです。

(介護認定審査会)

介護(支援)が必要な状態  
かどうか審査・判定を行うた  
めの審査会に係わる規定です。  
(保険料)

65歳以上のいわゆる第1号  
被保険者の介護保険料は、基  
準額(市民税本人非課税の方)  
で月額4128円です。条例  
では、月額49500円と定  
めています。負担区分は、従  
来の6段階のうち第2段階が、  
所得に応じて新第2段階と新  
第3段階に分かれることに伴  
い、7段階になります。

また、保険料の延滞金や徴  
収猶予・減免の要件・申請方  
法を定めています。税制改正  
に伴い保険料所得段階が激変  
する方の保険料について、段  
階的に引き上げる緩和措置に  
よる特例も定めています。  
【賛成多数で原案可決】

討  
論

不安と負担に追い打ちを  
かける保険料の値上げで  
あり反対(日本共産党)

今回の保険料の値上げは、  
平均で旧春日部地域が31%、  
旧庄和地域が65%であり、高  
齢者の暮らしを直撃するもの  
です。年金が減って、これ以  
上はもう払えない、年寄り  
は長生きするのがつらいとい  
う声さえ聞いています。高齢者  
にこんな思いをさせる制度で  
あつてはならないと思いま  
す。

介護保険は、所得のない方  
から保険料を取るという大変  
過酷な制度です。自治体の施  
策として、せめて非課税の高  
齢者には、保険料を補助する  
制度を設け、この大幅な値上  
げはやめるべきです。

高齢者が地域や家庭で安心して  
生活できるよう、さらなる努力  
を要望し賛成(新政の会)

保険料が上がる要因は、第  
1号被保険者の負担割合が第  
3期事業計画では1%増えて  
19%となったこと、介護サ  
ービスの利用が伸びていること  
今後、特別養護老人ホームな  
どの入所施設の整備が進むこ

とで保険給付費が増加するこ  
と、調整交付金の大幅な減額  
によるものと思えます。保険  
料の引き上げは、やむを得な  
いと理解します。また、低所  
得者の保険料負担に配慮し第  
1から新第3段階の保険料率  
を低く抑えていることは評価  
します。今後、保険料引き上  
げを抑制するために介護予防  
施策の推進が必要と考えます。  
保険料の引き上げ抑制が  
必要であり、さらなる努力  
を求めて賛成(創政会)

65歳以上の高齢者は毎年約  
200人増加し、介護認定を  
受ける人の数も増えていま  
す。また、施設整備が進んだこ  
とや在宅介護を受ける人も増  
えて保険給付費が伸びていま  
す。このようなかで保険給付費の  
伸びを見込んだ事業計画に基  
づく算定を行い、保険料率が  
改正されるものです。しかし、  
いたずらに給付費が増える状  
態は容認できるものではなく  
対策が欠かせないものです。

保険料の引き上げ抑制が必  
要であり、元気な高齢者が要  
介護状態にならないように介  
護予防の施策を推進し、効果  
を出すことが重要と考えます。